京都外国語大学校友会会報

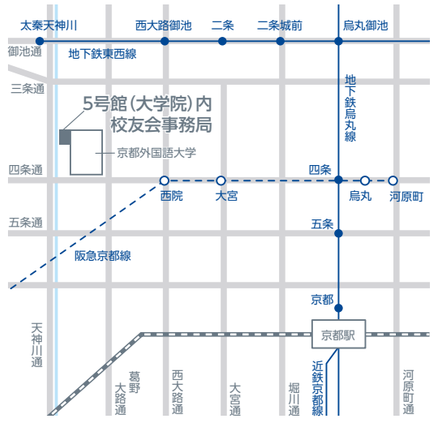
ALUMNI NEWS No.36

令和３年(2021年) ６月15日発行

発行人＝京都外国語大学校友会　会長　島谷直見

発行所＝京都外国語大学校友会

編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会




**京都外国語大学校友会**

〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地

TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220

http://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

No.36

京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

# ALUMNI NEWS



**京都外国語大学校友会**

No.36
ALUMNI NEWS

CONTENTS

01 会長挨拶
京都外国語大学校友会　会長　島谷直見
02 理事長・総長挨拶
学校法人　京都外国語大学　理事長・総長　堀川徹志
03 最高顧問挨拶
学校法人　京都外国語大学　最高顧問　森田嘉一
04 学長挨拶
京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長　松田　武
05 寄稿文
横島　昇／荻沼恭子／安藤洋之／小島加容子
09 「輝く星となる学生」奨学生の今…
10 祝「校友会奨学金授与」慶びの声
・外国人留学生給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）
・外国人留学生給費奨学生（留学生別科）
・「輝く星となる学生」給費奨学生
12 在学生からのメッセージ
14 支部だより
・東京支部／滋賀支部
・上海支部／ＥＵ支部
16 令和２年度　事業報告／令和３年度　校友会事業計画
17 校友会役員／常任幹事／支部連絡先（国内・海外）／活動中のクラブOB会紹介

## 京都写真散策
Kyoto Photo Walk



〔写真・文〕 アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

### 「京野菜」

去年の暮れ、コロナ禍で観光客のいなくなった夜の花見小路を歩いてみた。ほとんどのお茶屋や料理店が臨時休業している。こんな静かな祇園町を見るのは数十年振りである。そんな静まり返った道端に、車内の天井に取り付けた蛍光灯を明々と付け、後ろのドアを跳ね上げ客を待つ野菜売りに出会った。

昔、野菜売りといえば大八車に賀茂で取れた野菜をいっぱい積み込んで、農家のおばさんが売りに来ていたものだ。ところが最近では大八車が軽トラに変わり、住宅街や料理店が集まる市内中心部まで売りに来ているのである。花街で見かけた軽ワゴンには、大根、みずな、ねぎ、こかぶ、白菜、えびいも、人参などの京野菜が所狭しと綺麗にディスプレーされていて、今まで見たこともない売り方に驚かされた。

しばらく呆気に取られて見ていると、主人と思われる若い男が「きれいでっしゃろう」と話しかけてきた。

# 大切に守る

Message from SHIMATANI Naomi



京都外国語大学校友会
会　長　島谷　直見

校友会の皆さま、コロナ禍による甚大な影響を受けて大変な日々を過ごされた事と存じます。それは生きる上で大切と信じてきた事柄が一瞬にして覆される驚きと、一寸先さえ確約もできない不安の日々の連続でした。

在学生は大学入構禁止、リモート授業の毎日と、本当に厳しい学生生活だったと思います。校友会も同じく、殆どの活動が中止となり、全てが止まってしまいました。

令和３年３月末日、理事長・総長　森田嘉一先生が退任されました。そして新たな理事長・総長として堀川徹志先生が就任されました。

前理事長・総長　森田嘉一先生は永きに渡り、この京都外国語大学が目指す『建学の精神』『不撓不屈の精神』と共に、その身を捧げてこられました。その数々のご功績の素晴らしさは、言葉では言い尽くせません。

校友会の全国各支部総会へも何度も足を運んで下さり、常に素敵なオーラを発しながら、私たち卒業生を温かく包んで下さいました。その恩恵を受けて校友会の歴史が今日まで築かれてきたと思います。

新理事長・総長　堀川徹志先生は、私の大学時代の恩師でした。その親しみ深いお人柄は当時も今も全くお変わりなく、コロナで傷んだ皆さまの心を優しく癒し、この京都外国語大学を大きく発展させて下さる事と思います。

今まさに、新たな京都外大の歴史が始まりました。

「自信を持って社会に貢献できる人材を育てる」役割を担う大学、卒業後「人とひと、心とこころの繋がりを全卒業生へと伝える」役割を担う校友会。

大学と校友会が真に一つになり、今後の新しい時代に向かい、力強く大きな一歩を踏み出す京都外国語大学となることを願います。

校友会の皆さま、どうぞ、お体にはくれぐれもお気をつけてお過ごし下さい。

何よりも、世界中の人々の安寧な生活と安らぎが一日も早く帰ってきますように。

そして新型コロナウィルスが収束の時、思い切りの笑顔でお会いし、校友会活動を共に楽しむ日が来ることを心より願います。





校友会より大学への「寄付目録贈呈式」（令和２年９月11日）





大学より校友会寄付への「感謝状贈呈式」（令和２年11月10日）

# 就任にあたって——校友会のご支援に感謝

Message from HORIKAWA Tetsushi



学校法人 京都外国語大学
理事長・総長 **堀川 徹志**

まず、校友会会員皆様の母校に対する変わらぬご支援に心から感謝申し上げます。

さて、創立者で初代理事長・総長の森田一郎博士が1976（昭和51）年８月にホノルルで他界されて以来、今日まで通算45年の長きにわたって理事長・総長として学園を率いてこられた森田嘉一先生が、この３月末をもってご退任されることになりました。先生の永年のご苦労を想い、敬意を表します。

つきましては、その後任の重責を不肖堀川が負うことになりました。わたしは英米語学科第４期生（昭和39年度卒）で、卒業後、縁がありまして母校に残ることになりました。以来、創立者の森田一郎・森田倭文子両先生、そして森田嘉一先生のご薫陶を受けまして、現在に至っております。

今さら申し上げるまでもなく、創立者両先生の目は常に広い世界に向けられておりました。森田嘉一先生も同じであります。そして三先生はこれまで幾多の困難を乗り越え、学園の発展に尽力してこられました。今、世界は新型コロナウイルスに翻弄され、いわば受動的な鎖国の状態に陥り、人々の往来も困難になっています。しかし本学園の歴史は第二次大戦後の変動する世界を直視し、国内外で活躍できる有能な国際人の輩出を目標として始まったのですから、改めて創立の精神に立ち戻り、ぶれることなく、特色ある教育でOnly Oneを目指そうと思います。そして創立100周年を視野に、世界で光り輝く学園にしていきたいと思います。

2020年４月、国連公用語の一つであるロシア語を学ぶ学科が開設され、本学の特色が一つ増えました。ロシア語学科の設置は森田嘉一先生の念願でありました。わたしたちは今後も時代の推移を読みながら、特色ある教育を展開していく決意です。今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りたくお願いいたします。

校友会会員の皆様は京都外大で青春の一時期を過ごし、貴重な経験をしたという一点で繋がっている同窓生・校友であります。皆様のご活躍は母校の発展であり、誇りであり、また母校の発展は皆様の誇りとなるものです。皆様の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。末筆ながら、校友会活動の益々の充実・発展を念願しております。

〔略歴〕教務部長、国際交流部長などを経て森田嘉一、高木久雄、重乃晧三先生の学長任期中に通算 10 年副学長、
2002 年から 2010 年まで学長、2008 年から副理事長、日本私立大学協会常務理事



# 校友会 ALUMNI ——退任にあたって

Message from MORITA Yoshikazu



令和３年３月31日 理事長・総長退任の挨拶にて

学校法人 京都外国語大学
最高顧問 **森田 嘉一**

このたび令和３年３月31日付けをもちまして、わたくしこと森田嘉一は、学校法人京都外国語大学理事長・総長を退任いたしました。

在任中、理事長・総長として大過なく職責を全うできましたのは、教職員、在学生、卒業生の皆々様のお支えがあったからこそと、衷心より厚く御礼申し上げます。

新理事長には堀川徹志が就任いたしましたので、私同様何卒よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

思い起こせば、私の人生には、いくつかの転機がございました。

一つ目の転機は、1947年。両親で創立者である森田一郎・倭文子が、志をもって京都で本学園を開学。一方、私は東京で学生生活を送り、私なりの将来ビジョンを考えておりましたが、両親の苦労を目のあたりにして、共に学校を作っていこうと決心し、1953年、入職に至ったのであります。

二つ目の転機は、1976年。教鞭をとりながら大学運営を学んでおりましたところ、海外出張中に父 森田一郎理事長・総長が急逝するという、学園にとっても家族にとっても大変ショッキングな出来事がございました。そのような中、未だ心の整理もつかないまま、理事長・総長に選任され、前進あるのみで無我夢中で走り続けてきました。気がつけば入職して68年、理事長・総長として45年が経過したのでございます。

三つ目の転機は2021年。１月に90歳・卒寿を迎えたのを機に、理事長・総長を退任することとし、４月から最高顧問という立場で学園の一層の充実発展のため最善を尽くしてまいるよう命ぜられました。

世界はコロナ禍がもたらした「ポストコロナ」「ニューノーマル」時代に移り変わろうとしております。教育の在り方も変容していくことでしょう。「不易流行」という言葉がございます。世の中が変化しても不変なるものが「不易」、その時々に変化していくものが「流行」です。人が人をつくるという教育の基本はどのような時代にあっても変わらないと考えます。

それに、新しいものを受け入れる「進歩」とのバランスが教育にとって大切なことであります。

**PAX　MUNDI　PER　LINGUAS （言語を通して世界の平和を）**

皆様の学生時代、正面の８号館に掲げられたこのラテン語の文字の下を何度くぐられてきたことでしょう。ここに学園を支えてきた建学の精神が込められております。

私は、その精神に恥じぬよう、後世に繋いでまいりたいと存じます。

最後になりましたが、会長はじめ役員、各支部の方々、各方面で活躍されているすべての会員の皆様に心から敬意を表し、引き続いて本学園のご支援賜りますようお願いして、私の挨拶といたします。

# コロナ禍で見えた新たな教育の可能性

Message from MATSUDA Takeshi

京都外国語大学
京都外国語短期大学
学長　松田　武



京都外国語大学校友会会員の皆様には、日頃より母校の教育研究活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るった2020年を境に世界は一変し、政治や経済など各方面で大きな混乱が生じました。教育の場も例外ではなく、大学では授業や課外活動、入学者選抜、就職活動等、様々な活動において、厳しい制限や大幅な変更を加えざるを得ない状況に追い込まれました。在学生の学修環境を整備するにあたり、助成金ならびに奨学金という形で手厚い修学支援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

昨年度は、授業開始の延期を３月下旬に通知し、遠隔授業の実施を４月中旬にホームページ等を通じて発表しました。学生向けには、オンライン学修準備のための専用サイトを立ち上げるとともに、コールセンターを設置するなど、学修支援体制を構築しました。また、授業科目担当者を対象として、授業開始までの約３週間の間に遠隔授業に関するワークショップを計５回実施し、授業開始前後の混乱を最小限に抑えることに注力しました。外国語大学という性格上、学生と教員、あるいは学生同士の直接的なコミュニケーションをとりわけ重視する本学にとって、すべての授業をオンラインで行うという未曾有の事態は、創立以来最も大きな試練であり、海図なき航海ともいえる挑戦でした。2021年度においては、学生や教職員の健康と安全に細心の注意を払いつつ、対面授業を基本として、一部の授業科目については遠隔授業を取り入れて実施しております。

コロナ禍を機に、遠隔授業を全学的に実施したことで、対面授業では得られない教育効果や、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド型授業のメリットを大いに実感することができました。その一方で、これまで当然視されていた対面授業の重要性や、学生と教員との直接的なコミュニケーションの大切さにも改めて気づかされました。様々な授業形態が持つ利点や可能性を勘案しながら、さらなる充実化を図ることが、本学に課せられた重要な使命であると考えております。外国語および世界各国の歴史や文化、国際社会に関わる教育研究を専門とする大学として、めまぐるしく変容する社会を注視し、時代のニーズを確実に捉えながら、最善のあり方を追求してまいります。

校友会会員の皆様におかれましては、今後とも母校へのご理解とご支援をお願いするとともに、何卒ご自愛専一にてご活躍くださいますようお願い申し上げます。





# 不思議な縁（えにし）
## 私と京都外大

以下に述べる理由から、私は母校京都外大に、浅からぬ縁（えにし）を感じている。私は幼い頃よりモノ書きになるのが夢で、周囲からも、文才があるとほめ囃され、当初は、宮沢賢治風の童話をさかんに書いていた。が、16歳の折、大きな挫折を体験する。高校一年の時、三島由紀夫の「花ざかりの森」を一読して、十代の少年の作とは思えない、その典雅な文体と老成した思考に驚嘆すると同時に、自分の無知、幼稚さに絶望し、それまで書きためていた原稿をすべて焼いた。しかしそれから、長く苦しい文章修行が始まった。一流の作家は、いずれも20歳前後で自分の文体を造り上げている。だが私には、それが出来なかった。外大に入ったのは、外国文学に憧れてのことだったが、成績はサッパリだった。そういう次第で、高校入学時から大学卒業の時まで、えらく暗い青春期を送るハメになったが、唯一の慰めは、下宿の友達との深更に及ぶ文学談義だった。私が自分の文体を一応確立したと思ったのは、27歳の時であるが、その折、発表のあてなく書いた作家論を、当時の下宿仲間の一人が、「お前、これは売れる」と褒めてくれた。小学館刊行の『第47回国際ペン東京大会論集』に、英国の代表的現代作家フランシス・キングの訳者として私の名前が載ったのは、それから三年後のことである。時の日本ペンクラブ会長井上靖先生のもとでそのペン大会が開催されたのは1984年のことだが、前年某誌に発表したキングの短編訳が、かの福田陸太郎先生の目に留まるところとなり、先生は、全く無名の私を、くだんのペン大会の全体会議におけるキングの講演の訳者として、日本ペンクラブに推挙して下さったのである。かくして、キングの研究家として世に出ることとなったが、この作家のことを、私は京都外大在学中、故河村鉄郎先生より教わったのだった。が、当時はまだ、母校との縁をそれほど強く意識していたわけではない。私が外大とのそれを運命的とも思ったのは、一昨年、ウィーン在住のソプラノ歌手、田中彩子さんの依頼で、モノオペラ「ガラシャ」の台本を執筆することになった折である。この年の秋、帰国直後の彼女と初めて会ったとき、田中さんは開口一番に、こう言った、「わたしの両親、実は京都外大の出身なんです」。しかもさらに愕くべきことに、国際的に華やかな演奏活動をするこの歌姫は、モノ書きとしての私の誕生の年、1984年の生まれなのだった。



「師匠の福田陸太郎先生と、日本フランシス・キング協会総会で。早稲田大学、1997年秋」



長岡京市での、細川ガラシャについての講演会で。2020年秋

横島　昇　s50年度英米語学科

**PROFILE（よこしま・のぼる）**
1953年　京都府生まれ。
1976年　京都外国語大学卒業、80年、同大学院修士課程修了。
著書、『フランシス・キング　東西文学の一接点』（こびあん書房、1995）、『ガラシャの祈り』（未知谷、2019）。訳書、フランシス・キング『日本の雨傘』（河合出版、1991）、郡虎彦『郡虎彦英文戯曲翻訳全集』（未知谷、2003）、フランシス・キング『家畜』（みすず書房、2006）、フランシス・キング『感情教育』（未知谷、2019）、フランシス・キング『炎の恋人』（未知谷、2019）。2020年世界初演、田中彩子総合プロデュース・主演、国際共同制作によるモノオペラ「ガラシャ」で脚本を担当。



ソプラノ歌手田中彩子さんと、細川ガラシャの隠棲地、京丹後市味土野で。2019年晩秋

# 転機を天職へ





荻沼恭子　h6年度スペイン語学科

**PROFILE（おぎぬま・きょうこ）**
1995年　イスパニア語学科卒業。卒業後、一般企業にて事務職や営業職等に携わる。
2008年　司法書士試験合格。
　　司法書士試験合格後、大阪市内の司法書士事務所及び司法書士法人にて、不動産登記、会社法務、相続案件、成年後見、債務整理、民事再生、自己破産等の幅広い業務に携わる。
2019年　しんせい司法書士事務所を開設。
2021年　KOBE司法書士法人 大阪支店長に就任。

外大卒業後、一般企業に勤めていましたが、あるきっかけで法律の道を志すことになりました。そのあるきっかけとは、知人から会社の代表者になって欲しいと頼まれたことです。当時まだ20代で全く法律の知識もなく、世間そのものについても無知で世間知らずといった有様でした。

知人の言われるがまま、何やら重々しい契約書や銀行へ行って手続きをするうちに、これで大丈夫だろうかと、さすがの楽観主義者の私でも疑念が湧き出したのです。実務を回しているのは知人になるので、私は契約の中身や融資の内容といった肝心のところが全く分かっていなかったのです。何も心配ないという知人に対して、やはり法律の基礎を学ぶ必要があると感じたわけです。そんな事がきっかけとなり、法律家の道を目指すことになりました。人生本当に何がきっかけで転機が訪れるかわかりませんね。

猛勉強の末司法書士試験に合格後、大阪市内の司法書士事務所で幅広い業務に携わってきました。司法書士というと、何をする人かイメージが湧きにくいかと思いますが、一言でいうと、国民の権利や資産を守る仕事です。弁護士と比較するとわかりやすいかと思いますのでざっくりと簡単に説明すると、弁護士の仕事は、すでに紛争になっている問題を解決する仕事です。一方司法書士は、紛争にならないために事前に手を打っておく仕事です。代表的なものが登記です。不動産を購入すればこれは私が持ち主ですと、登記をしておくのです。登記をしておかなければ後々誰が所有者か分からずトラブルに発展する恐れがあるからです。登記以外にも実は様々な業務があります。最近は、高齢化社会を反映して、後見業務や相続業務が増えてきています。



実務を通してつくづく思うのは、一般の方は、まだまだ法律や制度の事は理解していないということです。今や情報はすぐに入手できる時代になりましたが、勘違いされていたり、間違って伝わっていることが少なくありません。

微力ながら、SNSで法律動画講座の配信や、法律や制度の事をわかりやすく知っていただけるように講座やセミナーなどの活動もしております。

外国語大学卒業という法律職では異色ではありますが、京都外国語大学で学んだ多様性・独創性・創造性を生かし今後もさらに活動の場を広げていきたいと思っております。

# 青年海外協力隊に参加して



安藤洋之　h18年度英米国語学科

**PROFILE（あんどう・ひろゆき）**
2007年3月　英米語学科卒業
2007年4月　株式会社ヒューマレッジ入社
2011年　兵庫県伊丹市立伊丹高等学校勤務
2012年　兵庫県立香住高校勤務
2016年6月　青年海外協力隊としてケニア共和国にて活動開始
2018年3月　帰国
2018年4月　兵庫県立香住高校勤務
2020年4月　兵庫県立国際高校勤務（現在）

私は2011年より兵庫県の県立高校で英語科教員として勤務している。最初に担任した学年を卒業させた後に、何か新しいことに挑戦したいと思い、青年海外協力隊に応募した。2016年6月より1年9ヶ月、ワムム更生学校という罪を犯した10歳から17歳の子供が生活する更生施設で活動をした。言葉も風習も価値観も全てが異なる文化に溶け込む過程で、ケニアとケニア人を嫌いになった時期もあったが、今振り返ると自分の人生の中でも貴重な経験であり、知見と視界を大きく広げてくれた時間であった。ケニアに派遣されるまでは「遠いアフリカで暮らす日本とは大きく異なる別社会」と感じていた概念がガラリと変わった。肌の色や風習は異なるが、隣人や客人を大切にし、助け合う精神に満ちたケニア人を非常に身近に感じるようになった。住む国は違うが同じ人間であるということを頭と心で実感した。そう実感できたからこそ、貧しさから十分な教育機会が与えられず貧困から抜け出せない人々や、医療福祉制度が整っていないことが理由で失われてしまう命が他人事ではなくなったように感じる。

スワヒリ語を学び習得すること、異文化理解を体験したことが高校の英語科教員として非常に有意義な経験であったと感じている。このケニアでの経験を自分なりに消化し、自分の生徒はもちろん、これから出会う人々に還元したいと考えている。

2020年はCOVID-19により全ての教育活動において感染防止策が必要となり、様々な活動が制限された。その一方で、ICT機器の活用が一気に進み、WEB会議システムを使い、時間と場所を超えて様々な人たちと画面を通して繋がることができた。急速に変化が起こりえる現代社会だが、学校が持つ役割は以前と変わらないと信じている。生徒たちと様々なことに挑戦し、失敗と成功体験を共有したい。様々な変化に柔軟に対応しながら私自身も成長し続けたいと思っている。





# 「人生の経糸と緯糸」





小島加容子　h3年度英米語学科

**PROFILE（こじま・かよこ）**
1992年　英米語学科卒業
1993年　渡豪
1995年　染織の活動開始
2016年　京都芸術大学通信科染織コース入学
2019年　同校卒業

大学卒業後、自分の語学力が本当に外国語大学を卒業したと胸を張れる自信が持てず、オーストラリアに渡りました。在豪の日本総領事館勤務を経て起業をしました。15年程でしたが、人生の大きなイベントの多くを経験し、語学を学ぶことはそれ自体が目的ではなく、言葉はツールであり、それを活かして何をするかが大切だと思い至りました。

帰国後は忙しい事を理由に語学への情熱も薄れがちになり、過去に諦めた夢を懐かしみ、ただ重ねるだけの年月を過ごしていました。せっかく身につけた語学力もあまり活用できず、漠然と語学を通じて誰かの役に立ちたいと思うものの行動しませんでした。が、数年前、もう一度自分にチャンスを与えようと思い、諦めていた美術大学の門を叩き、伝統工芸士に師事し染織の道に入りました。

現在は絶滅した技法の復刻と、消滅が危惧される技術を維持するべく精進しています。展覧会などで海外からの方に作品に触れて頂く事は新たな世界への扉が開くように感じます。語学とは無縁と思っていましたが、芸術には国境がなく、言葉が通じる事で無限の可能性が広がる世界は未知の海に飛び込んだ様です。

大学卒業後、大学で掲げられていた“言語を通して世界の平和を”という言葉が自分の中で常に自分の大きな目標だったと、今になって気付くこともあります。染織の制作活動の傍ら、ご縁があり近年は軍事英語の訓練や研究をする機会が与えられました。いつか自分も語学を通じて世界の平和に貢献したい、という想いを30年間持ち続け、やっと自分なりの目標に近づいて来たように思います。



人生の時間が経糸、経験や体験が緯糸だとすれば、単調だった緯糸がどんどんと色や糸の表情が豊かになって来ました。年を重ねる事は老いるのではなく、多彩になってゆく事のように思います。たまにはみ出した様な糸もいずれは馴染み、個性となるのも楽しい事です。これからもさらに新しい緯糸を綴れるように活動してゆきたいと思います。



# 「輝く星となる学生」奨学生の今…



菊池　絢乃
（h29年度英米語学科）

学ぶ側から教える側へ。私の教員生活の始まりは決して華やかなものではありませんでした。必ずしも英語が得意ではない高校生に英語を教えることは容易ではなく、「分からない」を繰り返す生徒に焦る毎日。一生懸命作ったプリントを目の前でくしゃくしゃにされ、さすがに心が折れそうになりました。

そんな中私は気付きました。生徒に「分かる」を求める必要はないのだと。私は英語が得意で、英語を専門に学び、英語に関わる仕事に就きましたが、それは英語が楽しかったからです。指導の方針を「分かる」から「楽しむ」に変えた途端、初めて彼らの顔に笑顔が浮かびました。アルファベットの読み書きができなかった生徒が、私の問いかけに英語で返答し、落書きばかりしていた生徒が、自分で書いた英文を基にスピーチをやり遂げたとき、教職に就いてよかったと思いました。

できるできないを気にするのではなく、楽しんでさえいれば自然と力は身についていく。これは恩師からいただいた言葉です。自信がなく、分からないことは恥ずかしいことだと思い込んでいた学生時代、この言葉に何度も救われました。大学で学んだこと、恩師の存在、全てが私の教職人生の礎になっています。



神吉　湧也
（h29年度英米語学科）

2016年に奨学金授与を頂いた、英米語学科卒（2018年３月卒）の神吉湧也です。奨学金は幼少からの夢であった2016～2017年のサンフランシスコ州立大学への交換留学費に充てさせて頂きました。そこで私の留学での学びとその後、現在について紹介をさせて頂きます。

私は英語学習が幼少から好きで取り組んでいましたが、留学を経験するまで海外への長期滞在経験がありませんでした。留学では学んできた英語力を試すことはもちろん、人との交流を通して多様な考えに触れたいと思い多様性で知られるサンフランシスコを留学先に選びました。そこでは国籍・人種・LGBTと私の想像を超える多くの考えに触れました。その中で私が一貫して感じたことは、その場の誰もが多様性を「理解」し、更には「取り込み」より良くする力があることです。

卒業後私は日産自動車の購買部で働いていますが、多様性の考えが活きています。会社はルノー・日産・三菱のアライアンスでの活動や、サプライヤー、社内の各部門、世界各国拠点のチームと仕事をし、様々な考えで溢れています。そこで私が常に心がけていることが、相手の事情を納得するまで理解し、より良い方法を探る留学で培った多様性の考えです。





CELEBRATE

# 令和2年度 祝「校友会奨学金授与」慶びの声

## 外国人留学生給費奨学生──外国語学部・国際貢献学部



**オウ　ビョウ**（外国語学部　日本語学科　４年次生）

この度は、校友会奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。この奨学金制度のおかげで自分のやりたいことに全力で取り組むことができています。感謝の気持ちを胸に、これからも努力を積み重ねていきます。



**チョウ　ケン**（外国語学部　日本語学科　４年次生）

この度、校友会奨学金の奨学生として奨学金をいただきまして、心から感謝を申し上げます。校友会のおかげで、経済的な負担が減って、学業に専念することができました。校友会に心から感謝の気持ちを申し上げます。



**ロ　セツジ**（国際貢献学部　グローバルスタディーズ学科　４年次生）

この度、奨学生に選ばれ、誠にありがとうございます。お陰様で、コロナの影響による経済の不安を軽減し、自分のやりたいことに取り組むことができています。今後も中日関係の架け橋になれるように頑張ります。



**ソン　イラク**（国際貢献学部　グローバルスタディーズ学科　４年次生）

Hello! I'm SUN YILE. I am very pleased and honored to receive this Kouyukai Scholarship. As a student transferred to the third grade this year, I have gained a lot during my study at Kyoto University of Foreign Studies, not only to broaden my horizons, but also to meet people from all over the world. I will make good use of this scholarship, continue to study hard and enjoy my time at the university.



**ショウ　レイマン**（外国語学部　日本語学科　2021年３月卒業）

この度、奨学生に採用して頂き誠にありがとうございます。これまで学業とアルバイトの両立をしてきましたが、この奨学金制度のおかげで勉学に励むことができました。今後も一層精進致します。ご支援に感謝致します。



**リ　サイ**（外国語学部　日本語学科　2021年３月卒業）

今度の校友会奨学金に採用頂き、誠にありがとうございます。この奨学金を頂き、経済の不安を軽減し、勉強に集中できます。

ここで、もう一度、支援してくださる方々に感謝致します。今後も生活も勉強も精一杯に頑張ります。



**ヨウ　シュンコウ**（外国語学部　国際教養学科　2021年３月卒業）

この度は、校友会奨学金に採用していただき、誠に有難うございます。コロナのために経済が悪くなり、父の仕事に影響があり、収入は大変減っています。おかげさまで、父の負担は少し楽になり、誠に有難うございます。

## 併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金　授与式

３月25日（木）511教室にて、「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式が実施されました。

これは、大学に編入学し、更なる勉学に励もうという向学心に溢れる短大生を、校友会が奨励しようという目的で令和元年より始められたものです。

昨年度はコロナ禍のため、39名の授与対象学生全員を一堂に会しての授与式は、実施できませんでしたが、代表者の服部芹那さん（キャリア英語科）に、校友会島谷直見会長より検定料補助金が授与されました。

なお他の38名の学生には、個人授与とさせていただきました。





## 外国人留学生給費奨学生──留学生別科



**ファン・ティ　フック　ユエン**（留学生別科）

この度、校友会奨学生に採用していただき心の底から感謝いたします。大切に使用させていただきます。校友会の皆様のおかげで、学費に充てることができて、アルバイトを減らし、学習時間に充てることができるようになりました。今後も一所懸命勉学し続けて、通訳者の夢に向かって、頑張ります。本当にどうもありがとうございます。





**ゴ・エヨ**（留学生別科）

この度、校友会外国人留学生給費奨学生に採用いただき、誠にありがとうございます。学校から色々な面で助けていただき、奨学金が受けられるのは私の生活にばかりでなく、私の学業にも寄与できたものと確信いたしました。今後も、力を尽くして、勉学に励んでいきます。



## 「輝く星となる学生」給費奨学生



**長牛　翔大**（外国語学部　英米語学科　３年次生）

この度、京都外国語大学校友会「輝く星となる学生」の奨学生に選ばれ、その栄誉に感激すると共に、身の引き締まる思いです。現在、教育学に関心があり、今後はSDGsの開発目標を研究し、課外活動にも参加していく所存でございます。そして将来に向けて一歩を踏み出す貴重な機会のため、今回いただいた奨学金を有意義に活用しようと考えています。今後とも将来に向けて日々邁進し、本学の「輝く星」となれるように精進して参ります。



**加藤　愛理**（外国語学部　ブラジルポルトガル語学科　２年次生）

今年度の「輝く星となる学生」給付奨学金の奨学生に採用されたことに深く感謝します。留学や外国語自律学習支援室NINJAの学生スタッフなど、現在の活動を学業と両立しつつ、さらに活動の幅を広げたいと存じます。また、他の在学生の模範となるだけでなく、進路として本学を検討している方の目に留まる「輝く星」となれるよう、日々精進して参ります。いかなる状況であっても不撓不屈の精神で取り組む所存です。



**ベーカータロウ**（国際貢献学部　グローバルスタディーズ学科　３年次生）

この度、「輝く星となる学生」奨学金に選ばれ、大変感激しております。この奨学金を学費に充当することでアルバイトを減らすことができ、時間という余裕も与えていただきました。その時間で学業により集中でき、所属している課外活動の能楽部にもより力を入れることができます。これまで支えてくださった方々に恩返しができるように、また、みんなの輝く星となるように努力いたします。



**寺田　有佑**（国際貢献学部　グローバルスタディーズ学科　４年次生）

この度、京都外国語大学校友会「輝く星となる学生」の奨学生として採用して頂き、大変感謝しております。同時に奨学生として選ばれた責務を強く感じ、これまで以上に学業に精進して社会貢献に励む気持ちを強くしました。今般のコロナ禍により苦学を強いられる学生が多くいるなかで私として何が出来るかを考え、また「海外の文化・社会問題を通じて日本の社会問題を世論に問いかける者」となることを目指して努力して参ります。

# 在学生からのメッセージ






西村 香穂
英米語学科
2021 年卒業

成長し続けることができた大学生活でした。１年次に京都外大リーダーズ・スクール（GLS）に出会い、様々な活動に参加し人として成長することができました。２年次にはGLSのリーダーを務め、リーダーシップ研修をメンバーと一から制作し、成功させることができました。また、留学しようと決心できたのもGLSで挑戦することの大切さを学べたからです。留学中にはTESOLという英語教授法について学ぶことができました。これからも挑戦する姿勢を忘れず成長できるよう精進していきます。



高橋 あゆ
スペイン語学科
４年次生

私は、小学生の頃親の仕事の都合でアルゼンチンに滞在していた経験があり、大学でよりスペイン語を話せるようになりたいと思い外大へ入学しました。スペインと中南米における同じ言語での違いを授業を通し感じ、言語習得により一層意欲的に取り組むことができました。新型コロナウイルスの影響で留学を断念する形にはなってしまいましたが、DELE合格に向けて日々勉強を継続しています。先生方の日々のご指導に感謝するとともに、残り１年間充実させた大学生活を送ろうと思います。



平野 さくら
フランス語学科
４年次生

2020年２月からの４か月間、フランスの派遣留学に参加させていただきました。途中から新型コロナウイルスの影響が広がり始め、通っていた大学も遠隔授業となりました。途中帰国しようか悩んでいた時、フランスに最後まで残り勉強を続けると決意したきっかけになったのがホームステイの存在でした。授業で分からないことがあれば親切に教えてくださり、自粛期間でもホームステイ先の方々との会話で多くのことを聞き、学ぶ機会がありました。本当の家族のように接し、迎え入れてくれたホームステイ先のご家族には大変感謝しています。



谷内 柚月
ドイツ語学科
2021 年卒業

スイスに住みたいという小学生の頃からの夢のためにドイツ語の学習を始めました。「外国語を学ぶ」ということは、私に新しい考えや価値観を与えてくれました。約１年間の留学では、新しい経験をするということに対して貪欲になることができ、そして自身の多方面での成長を実感できました。難しい部分もありますが、私はドイツ語が大好きです。京都外国語大学にてドイツ語を学べたことは、私の人生において非常に大きな、価値ある経験となりました。本当にありがとうございました。



川田 航大
ブラジル
ポルトガル語学科
2021 年卒業

ブラジルポルトガル語学科に入学したのは1921年にブラジルに渡った曽祖父がきっかけです。曽祖父は夢多き人でチャレンジ精神にあふれる人でした。私も２年生の春にブラジルに行き、サンパウロのアルモニア学園で１か月間の研修を行いました。現地で心優しい日系人の方々や元気な子どもたちと触れ合うことができました。忘れえぬ人生の宝物です。４月から社会人になりますが、曽祖父譲りのチャレンジ精神を大事にしていきます。ありがとうございました。



中西 孝介
中国語学科
2021 年卒業

この大学への入学のきっかけは父からのある言葉でした。「京都外国語大学で中国語を学んだ俺の知り合いが今活躍しているらしい」この言葉に加え、私は同学の「フリーガイドクラブ」というボランティアクラブにも興味を抱き、入学を決意しました。在学中は、中国への短期留学、クラブの運営、学科のイベントの司会等、多岐にわたる活動に携わることが出来、大変濃密な時間を過ごすことが出来ました。在学中お世話になった方々に改めて感謝の意を表します。



井垣 礼登
日本語学科
４年次生

日本語教師を目指して、そして日本文化が多く残っている京都に憧れ、この大学に入学しました。先生方の手助けや日本語教員養成推進室などの手厚いサポートのおかげで、日本語教育能力検定試験に合格し、さらに国際交流基金の日本語パートナーズ事業への推薦も頂くことができました。新型コロナウイルスの影響で残念ながら海外派遣は中止になりましたが、この悔しさを忘れることなく、アフターコロナの時代ではグローバルに活躍したいと思っています。



田畑 星来
イタリア語学科
４年次生

私は語学力を伸ばし、また自分を変えたいと思い、３年次生の時１年間派遣留学生としてイタリアへ留学しました。しかし、全世界でコロナウイルスが大流行し、イタリアでは約３ヶ月間ロックダウンがあり、その後も移動制限がかかるなど非常に厳しい生活を送りました。

その中で、私は自分自身と向き合い、将来何をしたいのかを考えていました。慣れない環境、文化の中で生活し、留学でしか得られない体験が自分自身に対する自信を高めてくれました。コロナウイルスが落ち着き、自由に留学が出来るようになった際には是非留学を体験してほしいと思います。



冨山 始夢
国際教養学科
４年次生

将来、発展途上国の貧困層のため支援をしていきたいという気持ちがあり、そのために必要なことが学べる国際教養学科への進学を決めました。国際教養学科では魅力的な先生たちの授業のおかげで、自分の興味も広がり、今では、ただ支援するだけではなく、利益を生み出し社会貢献もできる「グローバルビジネス」に将来関わりたいと思っています。そのためにも学生生活、残り少ないですが、様々なことを学び挑戦していきたいです。



福田 悠朗
ロシア語学科
２年次生

ロシア語学科第一期生としての幕開けは、学外でのフィールドワーク授業をはじめとした対面授業ができなくなり、また学生同士会って過ごす機会が中々ない状況になってしまいました。しかし、先生方はオンライン授業という前例のない忙しさの中、学生間の会話の機会をペアワーク課題やグループワークを通して準備して頂いたり、ロシア人学生との共同発表会を計画してくださいました。先生方に感謝しつつ、次年度からも勉学に邁進していく所存です。



宮武 愛海
グローバル
スタディーズ学科
４年次生

Despite the Covid-19 pandemic, Global Studies students have still continued to challenge themselves. For example, I got involved in regional revitalization efforts in the Nishijin area. With support from Kyoto City, my classmates and I held a business contest to help revive local businesses using student generated ideas. In order to prepare students for the contest, locals told stories about how they work hard to preserve local traditions and culture. I have come to realize that students in KUFS need more chances to join such local movements right here in Kyoto. I believe collaboration between students and local communities is effective for both learning and for generating new ideas to make the city of Kyoto a better place. Let's create more opportunities for students to collaborate with locals in 2021.



中井 涼矢
グローバル観光学科
３年次生

2020年は新型コロナウィルスの影響で、授業がオンラインで行われました。しかし、その状況だからこそできることはあると思い、空きコマを利用し仲間とプレゼンテーションや議論をし、SNSや学科ブログでの記事の発信、また趣味である読書を通して社会人の方々と議論をし、自分の知識や視野などを広げることができました。コロナ禍で行動が制限されている中でもできることはあると感じたので今後も様々なことに挑戦して、悔いのない学生生活を送っていきたいと思います。



奥村 みのり
キャリア英語科
2021 年卒業

みなさんこんにちは、京都外国語短期大学、英志会の奥村です。

京都外国語短期大学の特徴は夜間過程の短期大学であることです。ビジネスコースとアカデミックコースに分かれており、言語はもちろんのこと、社会問題やツーリズムなどのホスピタリティに関する授業など、履修できる授業はジャンルに富んでいます。また、午前中は授業がないため、編入の勉強をはじめとし、バイトや資格の勉強、就職活動など自分らしく時間を過ごすことができます。２年間という短いキャンパスライフですが、それぞれに必要なものを早い段階で見極め、それに向けて努力できる人材がここにはあると思います。

## 東京支部

前支部長　利根川正則　s51年度英米語学科

# つなげる つながる 卒業生の絆と外大文化

「第32回関東地区卒業生の集い2020」を11月21日（土）山野愛子邸（がんこ新宿）で開催しました。テーマは「三密を避け、校友と心の密を」。コロナ禍でのニューノーマルに向き合った大幅な人数制限により皆様の安心安全を第一に実施させていただきました。

密閉、密接、密集の三密を避けることで、参加者全員と不思議に「密度」が増すというかつて経験したことのない集いとなりました。島谷直見会長、松田武学長からは書面によるメッセージを予めお送りいただき出席者の皆さんにプリントして配布をしました。



これまでのように100名を超える集いの場合には、限られた方と挨拶を交わす程度になりがちでしたが、今回はしっかりとコミュニケーションが持て非常に充実した会であったと多くの方に喜んでいただきました。気がついたら、あっという間の「濃密な３時間」でした。



東京支部は「つなげる つながる 卒業生の絆と外大文化」をビジョンに掲げ、校友と校友、大学と校友会、卒業生と現役学生との橋渡し役を1988年の創設から努めてまいりました。

「これからが本番！」という常に新たな思いで今後も取り組み続けます。

今期より関東の卒業生との交流の場としてLinkedIn Pageを立ち上げました。東京支部からのお知らせやイベント等はこちらから発信していきます。登録をよろしくお願い致します。　東京支部連絡先：KUFS_TOKYO@outlook.com

京都外国語大学校友会
東京支部新サイトQR

## 滋賀支部

支部長　木下輝明　s41年度スペイン語学科

# 第３回歴史文化 ふれあい研修

地域の歴史文化伝統を学習、多言語による情報発信の活動の一環として開催。

今回は2020年大河ドラマ「麒麟がくる」に合わせ、第２回2019年は光秀ゆかりの坂本の町、第３回2020年は信長ゆかりの安土の町４か所を巡りました。




①写真：セミナリヨ跡：イタリア人宣教師オルガンチノによって天正９年（1581年）に創建された日本最初のキリシタン神学校の跡。

②写真：安土城跡：織田信長が天正４年（1576年）丹羽長秀に命じ、約３年の歳月をかけて完成した特別史跡です。1579年５月11日入城。1582年６月２日未明本能寺の変（信長公49歳）。６月14～15日天主・本丸炎上、火をかけたのは、誰かは不明です。

③写真：西の湖：現存する琵琶湖の内湖では最大の面積（甲子園球場74個相当）です。2006年11月１日に鳥獣保護区に指定され、2008年10月30日にラムサール条約登録湿地となる。琵琶湖のよし全体の70%相当が群生して魚・鳥の楽園でもある。

④写真：城郭資料館：安土城天主を1/20で再現したものです。

## 上海支部

支部長　奥原崇之　h4 年度中国語学科

# コロナに打ち克ち、新しい日常へ

昨年年初のコロナ感染症蔓延拡大、また武漢を含む全国各地での行動制限、移動制限といった環境下、年度前半は殆ど支部の活動が行えない状態が続きましたが、中国国内における感染症の状況も鑑みながら、６月、10月、３月と計３回にわたり、上海支部例会を開催しました。

特に昨年度の例会は何れも各位の近況報告、中でもコロナ禍対応に有益な情報共有の場となりました。

まだ日本や海外間の往来も自由にできない状態にありますが、１日も早くコロナが終息し、八坂神社の枝垂桜、背景に北山を望む賀茂川、渡月橋を渡りながら見る桂川など、極々日常の景色を楽しめる日が来ることを祈りながら、21年度も中国にて支部を運営して参りたいと思います。



在校生、卒業生の皆様におかれましては、無事コロナ禍を乗り切られ、晴れて留学、ご旅行で中国へいらっしゃる際には是非ご連絡頂ければ幸いです。

## EU支部

支部長　モラン(松本)幸枝　s45 年度フランス語学科

# EU 支部からの便り

昨年度世界中が振り回されたコロナ禍は今年に入ってもまだまだ収束する様子はありません。EUではまだ外出制限中です。

コロナ禍とともに生活するのに多少は慣れてきました。そしてZOOMやテレワークなど新しい試みも評価されています。しかし、コロナ禍以前の生活、すなわち世界中を自由に行き来できる環境がなんとありがたいことであるかしみじみと感じる今日この頃でございます。特に私共日本を離れて生活している者にとって日本に一時帰国できない状況はまさに厳しい出来事です。

今回の寄稿にEUのコロナ禍での状況をお知らせしようと思い、イギリス、フランス、ドイツの会員の方々に情報提供をお願いしました。

個人事業主や会社経営者に対する政府の経済支援は大まかどの国も評価できる状況です。従業員に対する休業手当も評価されています。

どの国も不満を訴える人々は必ずいますが、政府の対応にある程度の満足感はあるようです。といっても閉店に追い込まれる商店や会社、貧困に苦しむ人々がいることは忘れてはならないことですね。





情報を提供いただいたEU支部メンバー
左）浅越絵美子さん、右）村井一博さん



昨年末のコロナ禍で
人がいないパリの街角

昨年度は６月にEU支部の設立25周年記念懇親会を開催する予定でした。

残念ながらフランスでの全ての集会が禁止となり延期せざるを得なくなりました。

また、５年前2015年に予定していた「20周年記念懇親会」は、パリ同時多発テロ事件のせいでこちらも実施できませんでした。

EU支部は年に一度親睦会を開いていますが、参加者数はあまり多くありません。

国境を超えた集まりで飛行機を利用して一箇所に集うことは仕事や日々の生活に忙しい会員の皆様には結構ハードルが高い行事となります。

そこで、数年に一度の記念懇親会は参加者を増やす貴重な集いでした。

コロナが収束し、１日も早くEU支部の懇親会が開けることを切に願っております。

## 令和2年度　校友会事業報告

| 主な行事 | |
|---|---|
| 6月19日㈮ | 校友会外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈オンライン授与式〉 |
| 11月11日㈬ | 校友会外国人留学生給費奨学金授与式〈５号館１階　校友会会議室〉 |
| 12月　9日㈬ | 校友会外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈８号館２階　B会議室〉 |

### R3年

| | |
|---|---|
| 1月15日㈮ | 校友会給費奨学金「輝く星となる学生」奨学金授与 |
| 3月25日㈭ | 校友会併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助（給費）授与式〈511会議室〉 |

| 支部総会・懇親会 | |
|---|---|
| 10月24日㈯ | 滋賀支部　第３回歴史文化ふれあい研修（単年特定活動） |
| 11月21日㈯ | 東京支部　第32回　関東地区卒業生の集い〈山野愛子邸（がんこ新宿）〉 |

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

## 令和3年度　校友会事業計画

（令和3年4月末現在）

| | |
|---|---|
| 6月　9日㈬ | 校友会留学生別科給費奨学金授与式〈８号館２階会議室〉 |
| 26日㈯ | 大学との交流会 |
| 7月　4日㈰ | 和歌山支部総会・講演会〈アバロームきのくに〉 |
| 8月　8日㈰ | 第８回福井支部総会・懇親会〈福井アカデミアホテル〉 |
| 14日㈯ | 徳島支部総会・懇親会・阿波踊り〈ホテルクレメント徳島〉 |
| 9月18日㈯ | 福岡支部総会・懇親会〈アゴーラ福岡山の上ホテル〉 |
| 26日㈰ | 福井支部　国際フェスティバル〈福井県立図書館〉 |
| 10月　2日㈯ | 滋賀支部総会・懇親会 |
| 17日㈰ | 兵庫支部総会・懇親会〈ホテルヴィスキオ尼崎〉 |
| 11月　7日㈰ | 福井支部　REINAN国際交流のつどい〈福井県国際交流嶺南センター〉 |
| 27日㈯ | 高知支部総会・懇親会〈ホテル日航高知旭ロイヤル〉 |
| 12月　5日㈰ | 和歌山支部第27回ジョン・ケンドリック杯小中学生英語スピーチコンテスト〈和歌山コミュニティセンター〉 |

### R4年

| | |
|---|---|
| 1月22日㈯ | 大学との新年会 |
| 2月 | 東京支部総会・懇親会（予定） |

※鹿児島支部は10月頃に支部総会・懇親会を開催予定です。
※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会の会議を除く。
**新型コロナウイルス感染拡大のため、事業計画は大幅に変更する場合があります。**

〔SNS開設についてのお願い〕
校友会支部・クラブOB会などのSNS開設に関しましてはプライベートグループの管理者設定でお願い致します。また校友会ロゴの使用は正式な校友会パブリシティ広報活動として使用し、SNSなどの任意のコミュニケーションツールでは使用を控えてくださいますようお願い致します。



## 校友会役員

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 島谷　直見 | (s51A) |
| 副会長 | 桟敷　雄二 | (s48A) |
| 副会長 | 村井　正博 | (s45A) |
| 書　記 | 杉本　博司 | (s53A) |
| 書　記 | 三角　雅彦 | (s57A) |
| 書　記 | 加納友美子 | (s60A) |
| 会　計 | 中口　泰幸 | (s45A) |
| 会　計 | 杤込　敏一 | (s63A) |

## 校友会監査

| | | |
|---|---|---|
| 監査役 | 木下みゆき | (s56H) |
| 監査役 | 神谷　昌明 | (s55A) |
| 監査役 | 長者　善高 | 大学事務局長 |

## 常任幹事

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 髙橋　榮一 | (s45A) | | 北田　繁 | (s46A) | |
| 前田　正久 | (s46A) | | 神屋　信仁 | (s47G) | |
| 柴岡　和生 | (s48A) | | 小林　弘明 | (s50A) | |
| 宮本　省司 | (s51A) | | 地紙　恵子 | (s52Ⅰ) | |
| 大野　和男 | (６E) | | 山下　智子 | (s54A) | |
| 藤本　豊巳 | (s54Ⅰ) | | 中司　浩幸 | (s59E) | |
| 池田　稔 | (s61Ⅰ) | | 吉田　英子 | (s63A) | |
| 金島　由香 | (h01A) | | 東　啓治 | (h02A) | |
| 川本　葉子 | (h09A) | | 大塚　妙香 | (h19G) | |
| ウイルソン恵 | (h22A) | | 橋口　莉奈 | (h26A) | |

## 校友会支部連絡先

※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

令和３年５月末現在

### 〈国内支部〉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京支部 | 支部長 | 青木　光子 | 090-4812-3236 |
| 大阪支部 | 支部長 | 植松　宏行 | 080-3855-2166 |
| 京都支部 | 支部長 | 古澤　昭人 | 075-722-7162 |
| 徳島支部 | 支部長 | 朝日 紀世志 | 088-644-0106 |
| 富山支部 | 支部長 | 杉本　博司 | 080-3744-2816 |
| 石川支部 | 支部長 | 手塚 志津恵 | 0761-44-1201 |
| 高知支部 | 支部長 | 柴岡　和生 | 088-841-1939 |
| 福岡支部 | 支部長 | 北村　亨 | 080-3378-3056 |
| 鹿児島支部 | 支部長 | 鬼丸　宏 | 099-243-5331 |
| 和歌山支部 | 支部長 | 戸川　定昭 | 090-4300-6939 |
| 福井支部 | 支部長 | 中野 多郎右エ門 | 0776-53-2765 |
| 兵庫支部 | 支部長 | 川口　榮一 | 06-6491-0305 |
| 滋賀支部 | 支部長 | 木下　輝明 | 0748-46-5574 |
| Club HAT's | 会長 | 垣見　和人 | 090-9696-1618 |
| 教志会 | 会長 | 左近　正則 | 090-4032-3571 |

※沖縄支部は活動休止中

### 〈海外支部〉

| | | | |
|---|---|---|---|
| ロサンゼルス支部 | 支部長 | 再活動準備中 | |
| EU支部 | 支部長 | モラン(松本)幸枝 (s45F) | matsumoto-morin@orange.fr |
| メキシコ支部 | 支部長 | 原田 泉 (s47E) | i_harada1011@yahoo.co.jp |
| アルゼンチン支部 | 支部長 | 谷口 庄平 (s37A) | shohei@taniguchi.com.ar |
| ブラジル支部 | 支部長 | ヴォウタニ 友美 (h15H) | actually_tomomi@hotmail.com |
| チリ支部 | 支部長 | 山口 大介 (h1E) | yamaguchi@kanpomarino.cl |
| 上海支部 | 支部長 | 奥原 崇之 (h4I) | takayuki.okuhara@ykk.com<br>wechat ID：t-okuhara |
| シンガポール支部 | 支部長 | 再活動準備中 | |
| 香港支部 | 支部長 | 再活動準備中 | |
| 韓国支部 | 支部長 | 康 淑姫 (h20J) | toku-duhi@hotmail.co.jp |
| 台湾支部 | 支部長 | 澁谷 浩 (s60I) | hao-segu@biduying.com.tw |

## 活動中のクラブ OB 会紹介

※下記クラブ OB 会と連絡をおとりになりたい方は、京外大校友会・事務局（075-322-6057）にお電話ください。

| クラブ名 | 会長(世話人)名 | 卒業年度・学科 |
|---|---|---|
| 卓球部 | 中辻　政明 | s43A |
| サッカー部 | 森本　昌利 | s57G |
| ソフトテニス部 | 吉田　一郎 | s39A |
| ヨット部 | 門谷　伸二 | s47H |
| 弓道部 | 上野　森由 | s38A |
| 空手道部 | 前田　早斗 | s63A |
| 剣道部 | 作間　幸雄 | s59A |
| 硬式庭球部 | 山本　正太 | h14A |
| 硬式野球部 | 野村　貞夫 | s45A |
| 柔道部 | 河越　将守 | s44A |
| 少林寺拳法部 | 中川　賛一 | h03Ⅰ |
| 陸上競技部 | 藤田　和孝 | s44A |
| ボクシング部 | 笹本　嘉久 | s51E |
| バレーボール部 | 入江　実 | s46E |
| バスケットボール部 | 大元　浩文 | s58A |
| 応援団 | 川中　健司 | s44A |

| クラブ名 | 会長(世話人)名 | 卒業年度・学科 |
|---|---|---|
| スカウトクラブ | 植木　省道 | s55E |
| ローターアクトクラブ | 神谷　昌明 | s55A |
| 自然科学研究会 | 橿本　五代 | s49A |
| 海外事情研究会 | 沢田　勝義 | s46H |
| 混声合唱団ソレイユ | 大野　和男 | 6E |
| 貿易研究会 | 植松　宏行 | s43A |
| 能楽部 | 島谷　直見 | s51A |
| ＦＧＣ | 藤田　卓 | s45A |
| 弦楽アンサンブル | 宮田　怜奈 | h30A |
| 吹奏楽団 | 平原　靖彦 | h01Ⅰ |
| ドイツ語研究会 | 神屋　信仁 | s47G |
| ＥＳＳ | 前田　正久 | s46A |
| 学生放送局 | 小杉　征義 | s38A |
| アメリカンフォークソングクラブ | 田賀たづみ | s44A |
| スペイン語研究会 | 吉富志津代 | s53E |

※上記以外で活動中のクラブ OB 会はご連絡ください。